

## 新型コロナウイルス影響事業者緊急支援事業

「広島は決して折れない！  
一丸の矢プロジェクト」

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、市は、苦境に立たされながらも、共助の精神の下、感染拡大の防止を図りながら事業の維持に取り組む中小事業者を支援します。

図同プロジェクト支援事務局(コールセンター ☎298-0525、☎298-3934)

この事業は、3以上の中小事業者による団体かグループで行う取り組みを支援するもので

す。同感染症の影響で困窮している人を支援することで自らの事業維持に役立つ取り組みも対象となります。

## 【補助対象者】

3以上の中小事業者で構成し、過半数が市内事業者の団体かグループ

## 【補助対象となる取り組み】

①団体かグループで感染拡大の防止を図りながら、事業を維持していくための工夫を伴う新たな取り組み(単なる店舗のPRのみは不可)

②①に、新型コロナウイルス感染症の影響で困窮している人などの支援にもつながる工夫が加わった取り組み

(取り組みの例)

① ●ドライブスルー形式の物品販売 ●オンライン体験観光サービスの提供 ●デリバリー用料理の調理施設の共同運営 ●プレミアム付き商品券のオンライン販売 など

② ●修学旅行に行けなかった生徒にオンライン体験観光サービスを割安で提供 ●デリバリー用の調理施設で作られた料理を困窮している学生に安く提供 ●学生や生徒も楽しめる企画を盛り込んだ販促イベントの実施 など

## 【補助対象となる経費】

補助対象事業の実施に必要な経費 ※次の経費は除く ●参加事業者と申請団体の基礎的な運営経費(事務所経費など) ●人件費 ●商品の仕入れに係る経費など ●補助金交付決定前の経費 ●来年3月1日以降の経費

## 【補助率と補助限度額】

団体かグループ内の事業者の数に応じて補助限度額が決まります

| 事業者(営業箇所)の数 | 補助率          | 補助限度額(万円) |
|-------------|--------------|-----------|
| 3～10        | 補助対象の10分の9以内 | 100       |
| 11～25       |              | 250       |
| 26～50       |              | 500       |
| 51～75       |              | 750       |
| 76以上        |              | 1,000     |

## 【申請受付期間】

12月17日(金)(消印有効)まで(状況に応じて変更になる場合があります)

## 【申請方法】

所定の申請書を同事務局へ。申請書は、同事務局ホームページで ※事業の内容など詳しくは

市HP ページ番号 235573



## 市内55カ所の公共施設の命名権

## 命名権取得者を公募しています

市は、施設の管理運営費などの財源を確保するため、55の公共施設の命名権取得者を先着順で公募しています。

図財政課(☎504-2075、☎504-2099)

【応募資格】次の①②のいずれにも該当する法人か個人 ①県内に本社か支店などの事業所を有する。法人以外は応募者か応募団体の代表者の住所地が県内にある ②その他、市が定める除外要件に該当しない

## 【応募内容・応募条件】

●契約金額 年間100万円(※)以上。ただし、運動広場(戸坂、沼田を除く)、庭球場(新宮苑を除く)、市民農園は、年間50万円(※)以上

※消費税および地方消費税を除く

●呼称使用期間 原則3年間以上

●その他 詳しい応募内容・条件などを記載した公募要項は市ホームページか財政課で

【応募方法】公募要項に記載している各対象施設の担当課へ持参か、郵送(特定記録郵便)で提出

市HP ページ番号 15973



## 命名権取得者を公募している施設(対象とする公共施設は55施設)

●区民文化センター・区図書館の合築施設(中区、西区、安佐南区を除く) ●まんが図書館 ●区スポーツセンター(中区、東区、安佐北区を除く) ●屋内プール(総合屋内プールを除く) ●体育館 ●クアハウス湯の山 ●運動広場 ●庭球場(中央庭球場を除く) ●中小企業会館総合展示館 ●市民農園 ●広島駅南口地下広場 ●大型映像表示装置 ●安佐動物公園 ●こども動物園 ●安佐動物公園動物科学館 ●植物公園大温室 ●公園 ●健康づくりセンター健康科学館 ●市営さん橋 など

## ひろしま活力農業経営者育成事業

## 農業を始める人を応援します

農業に意欲のある人が農業経営者としてスタートできるよう、研修から就農までを一体的に支援する同事業を紹介します。

図農政課(☎504-2247、☎504-2259)

## 技術・農地・施設を一体的に

新たに農業を始めたい人を農業経営者として育成するため、同事業では研修をはじめ、就農に必要な農地のあっせん、ビニールハウスの整備などの支援を一体的に行っています。

研修は、基礎研修(1年)と実地研修(8カ月)。基礎研修では、専属の職員や専門家から栽培技術や経営管理を

学び、実地研修では、就農予定地で、新たに整備したビニールハウスなどの施設を使って経営実習を行います。研修修了後、農業経営を始めてからも、区農林課などの担当者による巡回指導などが受けられます。

平成9年度に開始した同事業では、現在45人が就農しており、新鮮で安全・安心な野菜を生産しながら、経営改善などに取り組んでいます。

## 来年4月からの研修生を募集します

図次の全てを満たす人 ●1978年12月2日(原則)～2004年4月1日生まれ ●就農(2023年12月1日予定)までに市内に居住 ●修了後あっせんされた農地で就農

【期間】来年4月から1年8カ月

図無料(資格取得や実地研修で使用する農機具などは自己負担)

図所定の申込書を、11月19日(金)(消印有効)までに、農林水産振興センター(〒739-1751 安佐北区深川八丁目30-12)へ。申込書は、同センター、市役所市民ロビー、同センターホームページなどで。選考若干名。詳しくは同センターへ

図同センター(☎842-4421、☎845-4350)

## 夢に向かって進んでいます

## -24期生の現場から-

今年4月から研修を始めた4人は、現在1年目の基礎研修で勉強中。新鮮で安全・安心な農作物を安定して生産するための方法や、経営の基礎知識などを学んでいます。

経歴や受講動機はさまざまで、「元々やりたかった農業をやっと始められることがうれしい」「ものづくりに挑戦したかった。人生を考えた時に、気持ちに素直になりたかった」「農業にはさまざまな課題があるけれど、課題解決の一端を担える存在になりたい」「事前に見学させてもらえるんですよ。本気でやりたいと思うなら、絶対やった方がいい」など、思いを話してくれました。



## 研修から就農までのイメージ



基礎研修  
耕運機の実技指導



実地研修  
就農予定地で収穫作業



ビニールハウスを  
JAからリースして  
よいいよ就農



経営者となり、生産した  
野菜の出荷作業を行う

ひろしま  
そだち  
kitchen  
キッチン

## 狩留家なすの焼きナス丼

vol.11

狩留家なす  
青ナスの仲間。  
果肉は柔らかく、  
みずみずしい



## 材料2人分

|                        |    |
|------------------------|----|
| 狩留家なす                  | 1本 |
| 青シソ                    | 2枚 |
| ミョウガ                   | 1個 |
| ご飯                     | 2膳 |
| 好みのたれ(ぽん酢、めんつゆ、ごまだれなど) | 適量 |

1 狩留家なすが破裂しないよう、菜箸を

実の先端からへたの近くまで突き刺し、穴を一つ開ける

2 1をガスの直火、なければフライパンなどで、皮が焦げるまで満遍なく焼く

3 青シソ・ミョウガを、千切りにする

4 2の皮をむいて食べやすい大きさに切りご飯の上にのせ、その上に3をのせる

5 好みのたれをかける  
(レシピ提供：NPO狩留家)

市HP ページ番号 4872



毎月第3日曜日(はひろしま地産地消の日)(ひろしま産day)

